



↑総務省大石利雄官房長へ特別交付税の要望



↑農林水産省（水産庁）との協議

赤潮被害に対する経過と対応

- 7月 28日 八代海赤潮警報発令
- 29日 赤潮被害発生（脇崎、宮ノ浦など）
- 8月 3日 赤潮被害が拡大（御所ノ浦、茅屋など）
死魚の埋設処理に対する準備
鹿児島県赤潮対策本部設置
- 4日 長島町赤潮対策室を設置し協議
町長が現地視察（御所ノ浦～茅屋）
- 5日 赤潮被害が拡大（葛輪、本浦など）
各地で粘土、塩などを散布
死魚の埋設処理を開始
長島町赤潮対策室の協議（第2回）
- 6日 赤潮被害が拡大
死魚の埋設処理 12カ所
県林務水産部長現地視察
- 7日 町全域で死魚の回収
県副知事、林務水産部次長現地視察
水産庁現地視察
中村眞県議現地視察
茅屋はへい死数がやや減少
- 9日 死魚の埋設処理がほぼ終了
- 10日 役場課長会（各課支援策について協議）
町長が県へ陳情
（副知事、環境衛生部、林務水産部、市町村課）
- 11日 長島町赤潮対策室の協議（第3回）
町が雇用対策について県へ陳情（雇用労政課）
- 12日 長島町赤潮対策室の協議（第4回）
町が赤潮被害額を算定し、県へ報告
- 13日 八代海赤潮警報解除
町から県へ要望書を提出
- 18日 町が県雇用労政課と緊急雇用対策について協議
- 19日 長島町赤潮対策室の協議（第5回）
- 21日 町議会全員協議会（状況、支援策などの説明）
県議団現地視察
- 24日 町長らが国へ陳情
- 26日 県林務水産課、水産振興課による県支援策の説明会